

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・古典B	学年	第3学年	教科書	第一学習社「高等学校 古典B」
		単位数	4単位	副教材	数研出版「読解をたいせつにする体系古典文法・準拠ノート」 大修館書店「ビジュアルカラー国語便覧」 数研出版「古文単語マスター 333」

学習目標	古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				
学習方法	○ 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行う。 ○ 授業においては古典専用の演習プリントを利用する。 ○ 家庭学習における課題を定期的に提出してもらう。最後まであきらめずに取り組もう。				
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	関心・意欲・態度	20%	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	
	b	読む能力	30%	古典を読んで、内容及び人間、社会、自然等に対する思想や感情を、構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	
	c	知識・理解	50%	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c		
前期	説話	10	古今著聞集	・比較的短い説話を読み、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・スマートフォン等を用いて古語の意味を調べ、発表する。	○	○	○	a: 古典作品に対して興味を持ち、積極的に読もうとする姿勢がある。 b: 話の展開を理解し、登場人物の心情を理解している。 c: 古語の意味が理解できるとともに、歴史的仮名遣いの基本が身についている。	・観察 ・発問評価 ・指名音読 ・提出物 ・定期考査
	随筆	12	徒然草	・随筆を読んで、人間や社会に対する作者の思想や感情を理解する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・スマートフォン等を用いて、関心を持った事柄を調べ、発表する。	○	○	○	a: 表現上の特色に関心を持ち、優れた表現に親しむことができる。 b: 文章の内容を、構成や展開に即して的確にとらえることができる。 c: 徒然草の文学史的意義を正しく理解している。	・観察 ・発問評価 ・指名音読 ・提出物 ・定期考査
		12	方丈記	・随筆を読んで、人間や社会に対する作者の思想や感情を理解する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・表現上の特色を理解し、すぐれた表現に親しむ。	○	○	○	a: 文章の内容を構成や展開に即して意欲的にとらえている。 b: 人間、社会、自然に対する作者の思想や心情を的確に理解することができる。 c: 「枕草子」の文学的意義を正しく理解している。	・観察 ・発問評価 ・指名音読 ・提出物 ・定期考査
	物語(一)	12	伊勢物語	・文章の構成や展開を把握し、主題を的確にとらえる。 ・和歌と散文が融合した表現の妙を読み味わい、歌物語の特色を理解する。 ・国語便覧等を用いて、他の和歌との共通点や相違点を発表する。	○	○	○	a: 文章の構成や展開を把握し、主題を的確に捉えようとしている。 b: 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わっている。 c: 歌物語における和歌の特色や役割を理解している。	・観察 ・発問評価 ・指名音読 ・提出物 ・定期考査
	故事・寓話	10	故事・寓話	・比較的短い文章を読んで漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。	○	○	○	a: 中国の文化について理解しようとしている。 b: 故事成語の由来に関心を持ち、使い方を正確に理解しようとしている。 c: 登場人物の性格・人物像、話の背景をつかんでいる。 d: 本文の寓意を正確に把握している。	・観察 ・発問評価 ・指名音読 ・提出物 ・定期考査

後 期	物語(二)	10	大鏡	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史物語特有の文章の構成や用語について感得し、語り手の意図を理解させる。</li> <li>登場人物の生き方考え方などについて、本文から読み取り発表し話し合うことで、理解を深める。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 歴史物語特有の文章の構成や用語について関心を持ち、語り手の意図を理解している。</li> <li>b: 敬語の基本的な意味・用法を理解している。</li> <li>c: 『大鏡』について、文学史上の基本的な知識を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>提出物</li> <li>定期考査</li> </ul>
		12	源氏物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>光源氏の誕生から紫の上とのかわりまでを読み味わう。</li> <li>古語に十分慣れ、正しく読解できるように、標準的な語彙や文法の知識を身につけさせる。</li> <li>「長恨歌」からの影響について理解を深める。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 源氏物語の文学性に関心を持ち、主人公の心情を感じ取れている。</li> <li>b: 内容や物語の展開を理解している。</li> <li>c: 源氏物語の文学史的な知識を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>提出物</li> <li>定期考査</li> </ul>
	和歌	10	万葉集 古今集 新古今集	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌の優れた表現に親しむ。</li> <li>和歌にこめられた思想や感情を読み取る。</li> <li>和歌の修辞技巧や表現・文法上の特色を理解する。</li> <li>季節ごとの、表現の共通点や相違点を理解する。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 和歌の伝統に興味・関心を持ち、古代の人の心を理解しようとしている。</li> <li>b: 上代に特有の表現や語法を理解している。</li> <li>c: 『万葉集』について、文学史上の基本的な知識を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>提出物</li> <li>定期考査</li> </ul>
		10	十八史略 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。</li> <li>中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 漢文に興味を持ちながら読み、訓点に従って正しく読むことができる。</li> <li>b: 登場人物の言動を把握し、その理由について理解している。</li> <li>c: 疑問・二重否定・反語・使役・否定・比較などの句形と意味について理解し、それに即して口語訳ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>提出物</li> <li>定期考査</li> </ul>
	日記	10	紫式部日記	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。</li> <li>文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。</li> <li>漢字や漢学の素養に関する記述から、我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 物語性に関心を持ち、内容を構成や展開に即して理解しようとしている。</li> <li>b: 作者の思想や感情を読み取っている。</li> <li>c: 和歌の修辞技巧を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>提出物</li> <li>定期考査</li> </ul>
		10	和泉式部日記	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。</li> <li>物語的な日記の内容を構成や展開に即して的確に捉える。</li> <li>和歌の贈答について理解し、恋愛感情の高まるさまを読み取る。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 内容に関心を持ち、構成や展開に即して理解している。</li> <li>b: 作者の思想や感情を読み取っている。</li> <li>c: 和歌の贈答について理解し、恋愛感情の高まるさまを読み取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>提出物</li> <li>定期考査</li> </ul>
	漢詩の鑑賞	10	中国の詩	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩に表現された作者の心情を、そのときの作者の境遇と合わせて理解する。</li> <li>漢詩のきまり、特に近体詩の詩形・押韻・構成・対句について理解する。</li> <li>訓読と中国発音による朗読とを比較し、印象の違いを話し合い、発表する。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a: 作者の生涯について関心を持ち、詩が作られたときの状況を把握して、詩の内容の理解を深めようとしている。</li> <li>b: 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改めている。</li> <li>c: 漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>発問評価</li> <li>指名音読</li> <li>提出物</li> <li>定期考査</li> </ul>
合計時数(55分授業)	128								